

代表質問発言通告書

発言順位	4番
------	----

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和5年 2月 15日

三島市議会議長 川原 章寛 様

三島市議会議員 4番 堀江 和雄

質問事項及び具体的内容
支えあい、安心と活力ある社会へ向けて、地域の個性を活かしながら課題の解決、魅力向上を実現し地域活性化を加速しようとするデジタル田園都市構想を進めていく。デジタルを活用して三島市が自ら目指す地域の姿を描き主体的に構想を実現する事が必要と考えます。
以下令和5年度施政方針並びに予算案について伺います。
1 安心・安全への備えである防災対策について
(1) 災害発生時の被害状況把握のしくみと首都直下地震などから守るまちづくりについて
(2) 大雨対策としての都市下水路の整備と農業を活用した治水対策（田んぼダム）について
2 健康で福祉が充実したまち
子どもの幸せを最優先とする社会の実現と少子化人口減少を乗り越えるために
(1) 0～2歳児への伴走型相談支援と経済的支援をより効果的に届けるための取り組みについて
(2) 健幸づくりアプリの活用など市民の更なる健康増進に向けた取り組みについて。
また、特定検診とがん検診のセット受診などによる検診率・受診率向上について
(3) 高齢者の社会参加の機会創出について。65歳以上の高齢の方もお元気な方が人のためにボランティアとして活躍できるしくみ作りについて
(4) 高齢者の暮らしを支える買い物支援「食料品アクセス困難な方」への支援について
3 未来につなぐ人材を育むまち
(1) リカレント教育を発展させたリスクリングへの取り組みについて
(2) 小中学校の業務改善のシステムを導入など、校務のDX化による教職員の働き方改革について
(3) 次代のリーダーの育成に向けた新たな取り組みについて
4 交流とにぎわいのあるまち
(1) 早朝・ナイトタイムも楽しみ滞在時間を長くする観光振興の取り組みについて
(2) サテライトオフィスなどIT企業誘致と産業振興・地域活性化及び雇用機会の拡大について
5 快適で暮らしやすいまち
(1) 土地利用政策の推進、大場地域を脱炭素先行地域としたGXを先取りした取り組み及びデジタル技術を活用した新たな産業の誘致について
6 共に創る持続的に発展するまち
スマート市役所の推進など更なるデジタルの活用による利便性向上について
(1) ICTを活用したまちづくり戦略について
(2) 行政運営の改善と人材育成及び職員のデジタルリテラシーの向上について
(3) マイナンバーカード普及により市民が利便性を感じられる取り組みについて